

教員プロフィール

平成 27 年 3 月 18 日

日本医療科学大学

所属学科・専攻	保健医療学部 臨床工学科
氏名	上屋敷繁樹
職位	講師
資格	臨床工学技士免許 専門士(臨床工学科)
主な略歴	東京女子医科大学病院日本心臓血圧研究所人工心肺室 (1991年) 埼玉県立循環器・呼吸器病センター (1994年) 順天堂大学医学部附属順天堂医院臨床工学室 (2003年) 桐蔭横浜大学先端医用工学センター (2003年) 横浜総合病院桐蔭ハートセンター (2003年) 東京北部病院 (2005年) 相模原中央病院 (2007年)
担当講義	基礎ゼミ、チーム医療演習、医用機器概論、医用治療機器学、医用治療機器学実習 医用機器安全管理学実習、体外循環装置学実習、血液浄化装置学実習 基礎医学実習、生体計測学実習
専門分野	体外循環・血液浄化・治療機器
主な研究テーマ	人工心肺シミュレーター、輸液ポンプ、治療機器チェッカの開発
業績 (主要なもの)	<ul style="list-style-type: none"> ・Hepcon HMSを用いた体外循環の検討 人工臓器 27(2);405-408,1998 ・Realtime-heparincontrol下におけるHeparin coating常温体外循環(Subclinical plasma fibrinolysisと血小板機能) 人工臓器 28(2);405-408,1999 ・脳保護からみた常温体外循環の安全性 人工臓器 29(2);375-378,2000 ・常温体外循環と中等度低体温体外循環 日本体外循環技術研究会 28(2);27-34,2001 ・TMP社製IABPバルーン(8Fr)の臨床使用経験 日本体外循環技術研究会 28(2);27-34,2001 ・TMP7 Frバルーンの臨床使用経験 循環器科 51;465-466,2002 ・常温体外循環と常温拍動体外循環-肝循環に対する検討- 胸部外科 54(9);747-752,2001 ・低充填量人工心肺回路による臨床的検討 膜型肺 26;22-26,2003 ・GIKを基液としたBlood Cardioplegia-ST.Thomas第1液と2液の比較-大動脈遮断時間180分以上での検討- 日本臨床工学技士会 21;134-135,2004
所属学会 (主要たる所属学会)	日本生体医工学会
社会活動等	日本臨床工学技士教育施設協議会 試験委員
在学生に一言	人間性豊かな大学生活を過ごしてください！一緒に頑張りましょう！
受験生に一言	臨床工学技士は専門性の高い技術職として広く認知されています。 本学では指導的な役割を果たせる人材の育成を目指しています。
メールアドレス	skamiyashiki@nims.ac.jp